

「中国では市場経済化が急速に進んだ結果、多くの人が経済的に恵まれない『敗者』となって、社会に対する不満を抱えている。内陸から海沿いの都市部に移り住んだ人口は、すでに1億人を超えると考えられるが、大半が都市の戸籍を持

渡辺利夫・拓殖大学長



投資リスク再認識を

まず、思い通りの職に就けり、日本との経済格差もない。中国は経済大国になり、またに歴然として残る。こつたと言われるが、それはうした現状への不満が、負外部の見方だ。内側を見れば大きな貧富の差など、途上国特有の二重構造が残る。最近の日本企業の中国

進出は、大企業から中小企業まで、一つのブームだった側面があり、投資リスクを十分判断してこなかったが、中国も含め企業の海外進出には様々なリスクがつきものだと、認識を新たに

(談)